

私立大学図書館協会 2011 年度第 1 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2011 年 5 月 13 日（金）14：30～17：00

場 所：立教大学（池袋キャンパス）12 号館第 1 会議室

出席者：大平龍玄（愛知学院大学）、今村太郎（関西学院大学）、長島敏樹（慶應義塾大学）、
吉兼まり（東京農業大学）、木村千鶴（広島修道大学）、鈴木直子（明治学院大学）

会長校：阿久津美都子、伊藤秀弥（立教大学）

事務局：酒見佳世（慶應義塾大学）

配布資料

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| ① 2011 - 12 年度私立大学図書館協会国際図書館協力委員会名簿 | 資料 1 |
| ② 国際図書館協力特別会計 2010 年度決算 | 資料 2 |
| ③ 国際図書館協力特別会計 2011 年度予算案 | 資料 3 |
| ④ 2011 年度第 1 回寄贈資料搬送事業実施について（ご案内） | 資料 4-1 |
| 資料搬送事業実施要綱 | 資料 4-2 |
| ⑤ 2010 年度海外派遣研修（長期研修）参加者募集について（お知らせ） | 資料 5 |
| ⑥ 2010 年度海外集合研修（短期研修）の参加者募集について（ご案内） | 資料 6 |
| ⑦ 2010 年度海外認定研修について（ご案内） | 資料 7 |
| ⑧ 国際協力基金支援企業一覧 | 資料 8 |
| ⑨ 2011 年度年間活動計画（案） | 資料 9 |

第 1 回委員会の開催のため、委員長の選出までの議題については会長校の立教大学伊藤氏を議長として議事を進行した。

報告事項

- 1 国際図書館協力特別会計 2010 年度決算
会長校の立教大学伊藤氏より（資料 2）に基づき 2010 年度決算について報告。
- 2 国際図書館協力特別会計 2011 年度予算案
会長校の立教大学伊藤氏より（資料 3）に基づき、2011 年度予算案について報告。

審議事項

- 1 委員長の選出
会長校の伊藤氏より慶應義塾大学の長島氏に委員長をお願いしたい旨提案があり、異議なく承認された。
- 2 寄贈資料搬送事業について
委員長より（資料 4-1）および（資料 4-2）に基づき、第 1 回委員会開催前ではあったが、円滑な年間事業遂行のため申請書提出期限を 5 月 31 日（火）とし、2011 年 4 月 1 日付文書により加盟大学図書館に郵送したこと、合わせて 5 月 11 日現在の申請書受付状況が報告された。2010 年度に採択されたが、現時点で資料の搬送が終了していない案件については、一旦キャンセルとし、今年度に改めて申請してもらうこととした。関税等の搬送費以外の費用負担の範囲、申請期限、搬送困難地域等については今後の検討課題とする。
- 3 海外派遣研修について
(1) 今年度の派遣者について

モーテンソンセンター側のプログラム変更により 2010 年度は派遣を中止。2010 年度派遣予定者であった文教大学図書館鈴木正紀氏を 2011 年度に派遣する。研修期間は 2011 年 5 月 30 日～6 月 22 日。

(2) 経費負担の範囲について

2011 年度の研修プログラムは、2010 年募集時の 8 週間より短い 1 ヶ月弱となった。研修プログラム終了後に ALA の Annual meeting が開催されることから、派遣者より Annual meeting への参加のための経費（参加費と宿泊費）の委員会負担の可能性について委員会に問い合わせがあった。検討の結果、2010 年度の募集案内には ALA の参加に関する記述はなかったため、派遣者に対して改めて ALA への参加希望の申請書と、参加にかかる費用（参加費と宿泊費）に対する請求書の提出を求め、申請事項の可否は委員長に一任することとした。なお、宿泊費については、宿泊地・宿泊日が明記されている証憑書類の提出を条件とし、1 泊につき 12,000 円を上限とする。

(3) 2011 年度の派遣者募集

2011 年度の派遣者募集については、モーテンソンセンターの申請締切を確認の上、募集要項を作成、選考面接の実施日程を決定する。

4 海外集合研修について

(1) 今年度の研修先について

各委員の所属大学で協定等、何らかの関連のある海外の大学・図書館等を確認し、次回委員会で研修先の候補を検討する。

(2) 参加費用 50,000 円について

来年度以降、参加費用は不要とし、国内の交通費についても委員会で負担する方向で検討することを確認した。

5 国際図書館協力シンポジウムについて

来年度開催することを確認。次回以降、過去のシンポジウムの開催実績を確認の上、講師、テーマ、日時、場所等について検討する。

6 海外認定研修について

(1) 成果報告のあり方について

適切なプレゼンテーションの機会を協会側で用意できない場合には、ホームページでの報告をその代替とすることを改めて確認した。募集案内の記述についても適宜修正を加える。

(2) 助成対象に関する問い合わせについて

本事業の助成対象についての問い合わせがあったことを受け、対象の範囲を再度確認した。提出される証憑書類が原本であることを条件として受け付ける。

(3) 今年度の募集について

上記(1)(2)で確認した点を募集要項に反映し、次回委員会で確認の上、今年度の募集を開始する。

7 国際図書館協力基金への支援依頼について

例年図書館関連企業等にお願いをしている寄付依頼の趣意書および依頼企業を確認の上、委員会で分担し依頼を行うこととした。

8 その他

(1) 今後の開催日程・開催場所

次回委員会は、7 月 1 日（金）14:30 より慶應義塾大学日吉キャンパスにて開催する。

(2) 今後の意見交換会のあり方について

委員長から意見交換会の回数を年に 2 回程度とすることが提案され、了承された。